

日本小児耳鼻咽喉科学会評議員会議事録

日 時：平成17年12月3日（土）

場 所：新霞ヶ関ビル3階小会議室（東京，霞ヶ関）

出席者：市村（理事長），新井，飯野，大迫，大塚，小河原（会計担当），川崎，川城（庶務担当），工藤（編集担当），古賀（顧問），小林（武），小林（一），佐々木，佐野，田中（監事），戸川，内藤，早川（監事），福永（第53回会長），細井（第1回大会会長），深美，守本，矢野（第2回大会会長代理）（50音順，敬称略）

【議題】

1. 53回研究会の件（東京：平成17年12月3日，会長 福永慶隆）

福永会長より，開催にあたっての挨拶があった。

2. 市村理事長より

研究会から学会になったことについて説明があった。小児科からの参加を増やしたいと，協力が求められた。

3. 平成17年度事業・庶務報告（川城理事）

川城理事より以下の報告があった。

第51回日本小児耳鼻咽喉科研究会を平成16年12月4日東京において獨協医科大学馬場廣太郎会長主催のもとに開催した。

第52回日本小児耳鼻咽喉科研究会を平成17年7月2日大阪において岡山大学西崎和則会長主催のもとに開催した。

日本小児耳鼻咽喉科vol. 25-2, 26-1を発行した。

小児期外科系関連学会協議会（17/7/11）に守本幹事を派遣した。

小児関連学会連絡協議会（17/7/21）に佐々木幹事を派遣した。

日本耳鼻咽喉科学会保険委員会に保険診療に関する意見を提出した。

小児急性中耳炎診療ガイドライン作成に飯野理事，川城理事を派遣し協力した。小児耳鼻咽喉科学会理事会で作成したガイドラインを検討した。ガイドラインのドラフトができており，評議員に送付し意見を募っている。

ホームページを維持した。

日本耳鼻咽喉科学会主催の関連する学会懇談会に出席した。学会開催日が決定した場合、他の学会と重ならないように日本耳鼻咽喉科学会に速やかに報告するよう求められた。

平成17年9月31日現在、正会員637名、団体会員11名である。

4. 平成17年度会計決算報告（小河原理事）

収入では広告収入が増加したこと、支出では会誌発行費、事務費が増加したことが報告された。日本小児耳鼻咽喉科学会平成17年度決算書類監査の結果が適正であることが田中監事より報告され承認された。

5. 平成17年度18年度移行期事業計画（川城理事）

平成16年10月1日から17年9月30日までが平成17年度、平成18年6月1日から平成19年5月30日までが平成18年度となるため、変則的に平成17年10月から平成18年5月までは平成17、18年度移行期と呼ぶことので承された。

第53回日本小児耳鼻咽喉科研究会を平成17年12月3日東京において日本医科大学小児科福永慶隆会長の下に開催する。

第1回日本小児耳鼻咽喉科学会学術講演会を平成18年6月30日～7月1日奈良市において細井裕司会長のもとに開催を予定し準備する。

日本小児耳鼻咽喉科vol. 26-2, 27-1を発行する。

平成17年度18年度移行期評議員および理事会を開催する。

学会運営に必要な諸委員会を開催する。ホームページにプログラム、次の学会開催の予告を掲載する。

日本耳鼻咽喉科学会主催の関連する学会懇談会に出席する。

以上について承認された。

6. 平成17、18年度移行期予算案（小河原理事）

平成18年度学会予算について説明があった。学会開催が一回になるので協賛金が見込めないため、収入が大きく減少すること、学会集会費による支出が減少する事が説明された。また、事務局費が新設されたことが説明された。18年度から支出増が予想され、年会費を7000円に上げることが提案され了承された。

7. 会誌編集報告（工藤理事）

学会誌にバックナンバー申込書、住所変更連絡用紙、編集委員会規定および色刷りで次回の学会開催予定を綴じこんだ。第52回小児耳鼻咽喉科研究会のシンポジウム4題のうち3題を原著形式で掲載した。編集委員会規定を掲載したことが説明された。

来年より一年に学会誌を3回発行し、第53回研究会の様子は4月発行の第一巻として掲載し、第2号は総会号、第3号は12月に発刊することが説明された。今後抄録集も発行する予定であるが、長い抄録を求めると演題数が減ることが懸念されるため、演題登録と抄録は別の形態で求めることなどを検討することとなった。

8. 第1回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会に関する件（細井裕司会長）

第1回大会について細井裕司会長より説明があった。会期は平成18年6月30日（金）、7月1日（土）を予定している。

7月1日は全日、6月30日は演題数に応じて開始時間を決定する。シンポジウムとして、小児科と耳鼻科の境界領域である急性中耳炎、鼻アレルギー、扁桃炎について、および奈良医大小児科の専門が血液疾患のため、鼻出血や小児の異物に関する教育講演などを予定していると報告された。特別講演、ランチョンセミナー2題も企画中である。一般演題を多く集めるため協力が求められた。ポスターも作成したとのことで供覧した。さらに学会開催期間の6月30日午前に理事会、評議員会を開催することが報告された。

9. 第2回日本小児耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会に関する件（矢野会長代理）

平成19年6月23日に仙台市で開催されることが報告され、挨拶があった。第1回大会をみて2日間に亘って開催することも検討したいとの報告があった。場所は仙台市医師会館の予定。

10. 学会運営について（市村理事長）

理事、評議員に推薦された先生について報告があった。

社会的な要請が増加することが懸念されるため、委員会を設置することを理事会で了承され、用語委員会、ホームページ委員会、保健医療委員会を設置したことの経緯が述べられた。学会への移行にあたり、今後のことについて感謝が述べられると共に、小児科と耳鼻科の学会であるため、理事、評議員への小児科医の推薦、委員会への参加を促していただくよう依頼があった。

以下の新役員が推薦され承認された。（以下敬称略）

理 事：黒野雄一（鹿児島大）

内藤健晴（藤田保健衛生大）

細井裕司（奈良医大）

西崎和則（岡山大）

阪上雅史（兵庫医大）

評議員：泰地秀信（国立成育医療センター）

阪本浩一（兵庫県立こども病院）

幹事：家根旦有（奈良医大）

用語委員会・理事：

細井裕司（奈良医大）

委員長：松谷幸子（仙台赤十字病院）

委員：望月高行（大和徳洲会）

井口郁雄（広島市民病院）

ホームページ委員会・理事及び委員長：

飯野ゆき子委員（自治医大 大宮医療センター）

委員：坂田英明（埼玉小児医療センター）

熊本真優子（福岡こども病院）

保健医療委員会・理事及び委員長：

佐野光仁（大阪府立母子医療センター）

委員：阪本浩一（兵庫県立こども病院）

守本倫子（国立成育医療センター）

1.1. その他

すでに会費納入振り込み用紙が18年度として発送されているが、平成17年度18年度移行期であることを別に郵送してお知らせすることとなった。

ホームページのリンク先などについて飯野理事より報告があった。

ホームページにプログラムを掲載する場合、個人情報保護されるようにする必要があることが、古賀顧問から指摘され確認された。また、ホームページの閲覧を会員用のclosedにすることが検討課題とされた。

理事長 市村恵一

庶務担当 川城信子

文責 佐々木祐佳子

幹事 深美悟・守本倫子・矢野寿一